

公益財団法人 神奈川県公園協会設立50周年 「次の50年へ～公園に新たな価値を～」

公益財団法人神奈川県公園協会は、県立都市公園やビジターセンター等の管理運営などを行っている団体であり、2025年3月に設立50周年を迎えました。この節目にあたり、「次の50年へ～公園に新たな価値を～」というキャッチフレーズとともに、公園の多様なニーズに応え、公園や地域に新たな価値を生み出せるような公益性の高い記念事業を地域と連携して実施されていますので、その一部をご紹介します。

まず、クラウドファンディングを活用し、公園の課題解決や魅力向上に取り組む3つのプロジェクトを行いました。「公園の桜守プロジェクトin神奈川」では、桜の老木化や過密化、病気の発生などが課題となっている三ツ池公園、塚山公園、山北つぶらの公園で、桜の再生に取り組みました。2つ目の「つながりの谷プロジェクト」では、三浦半島にある観音崎公園で、年齢や障がいの有無、性別等に関わらず、あらゆる人が草花や谷戸の生き物に触れ合える「つながりの谷」の整備に取り組みしました。3つ目の「ユニバーサルカヌーをみんなで作ろうプロジェクト」では、辻堂海浜公園のユニバーサルカヌー体験会で使用している、誰もが安心して乗れる「転覆しない安全性の高いカヌー」の新艇製作に取り組みしました。

同協会では植物管理発生材の有効活用にも取り組んでおり、クラウドファンディングの返礼品としてオリジナルグッズを製作しました。「公園の桜染めハンドタオル」は、桜の剪定枝等から染料を抽出し、今治で織られたオーガニックコットン製ハンドタオルを染めたものです。「公園さんぽ～くすの香～」は、クスノキの剪定枝を材料に、京都のお香の老舗「松栄堂」とコラボレーションして作られたオリジナルお香です。三ツ池公園、山北つぶらの公園、大磯城山公園、秦野戸川公園、恩賜箱根公園等でも販売されています。

また、同協会の50年のあゆみや公園の魅力を伝えるWEBサイトも開設しました。「推しスポット・推し体験」と称したブログでは、同協会が管理する公園等で活動している方々のおすすめスポットや体験が独自の視点

で紹介されており、公園の新たな魅力を発見できます。

さらに、「人と街のWell Being向上に向けた公園の管理運営」をテーマとしたシンポジウムを開催し、専門家による講演や会場参加型パネルディスカッションを通じて、今後の公園のあり方について多くの知見を共有する場となりました。

現在の公園管理は植物や施設の維持管理だけでなく、利用促進や市民協働によるパークマネジメント、エリアマネジメント、生物多様性の保全、防災機能、人々の健康増進への貢献や交流機会の創出等、公園に対するニーズは多様化し、地域社会において公園が果たす役割も大きくなっています。次の50年に向けて、同協会では公園の無限の可能性を地域の方々と共に最大限引き出し、新たな価値を創り出す管理運営の実現を目指しています。

神奈川県公園協会
50周年記念サイト



クラウドファンディングの返礼品として製作したオリジナルグッズのハンドタオルとお香。三ツ池公園ほか4つの公園で販売中。お香は「松栄堂」銀座店、人形町店、横浜店でも販売中



「かながわの花の名所100選」にも選ばれた塚山公園（横須賀市）の桜